

トピックス 平成25年度各会計決算を認定

平成25年度決算の概要

平成25年度熊本市の一般会計決算は、歳入が2,945億円（前年度比プラス182億円）、歳出が2,897億円（前年度比プラス166億円）となり、いずれも過去最高額となりました。

歳入と歳出を単純に差し引くと48億円の黒字の計算になりますが、翌年度へ繰り越すべき財源が15億円あり、差し引いて考えると、実質収支33億円の黒字となりました。この黒字は、平成26年度に繰り越され、歳入の一部となります。

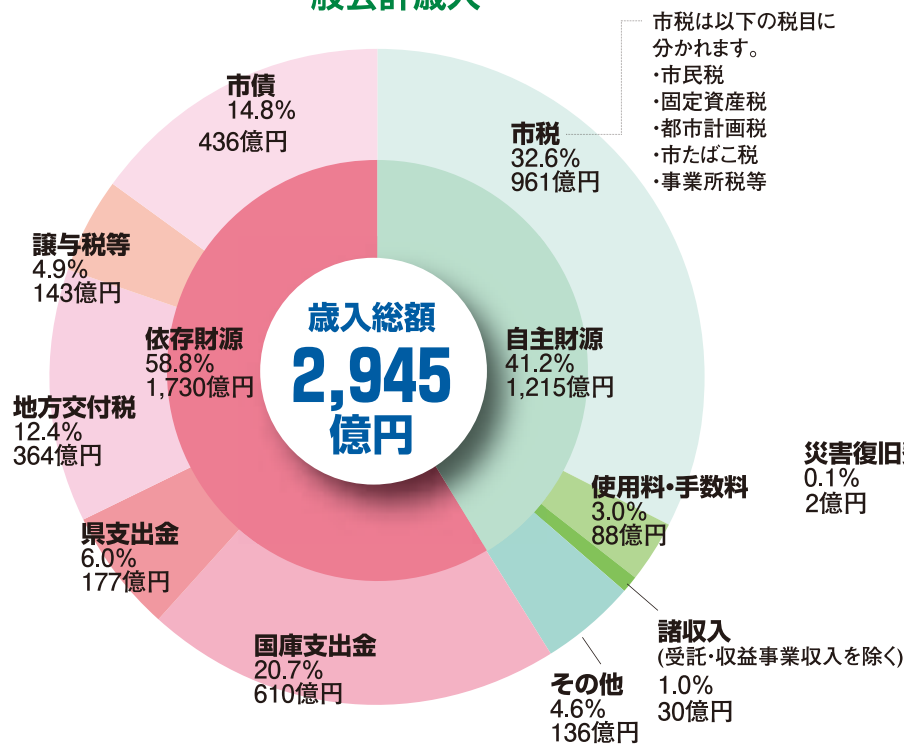
〈一般会計・特別会計〉

会計名	収入総額	支出総額	収入支出差引額
一般会計	2,945億3,495万円	2,897億2,681万円	48億814万円
特別会計	1,951億6,327万円	1,941億6,608万円	9億9,719万円
合計	4,896億9,822万円	4,838億9,289万円	58億533万円

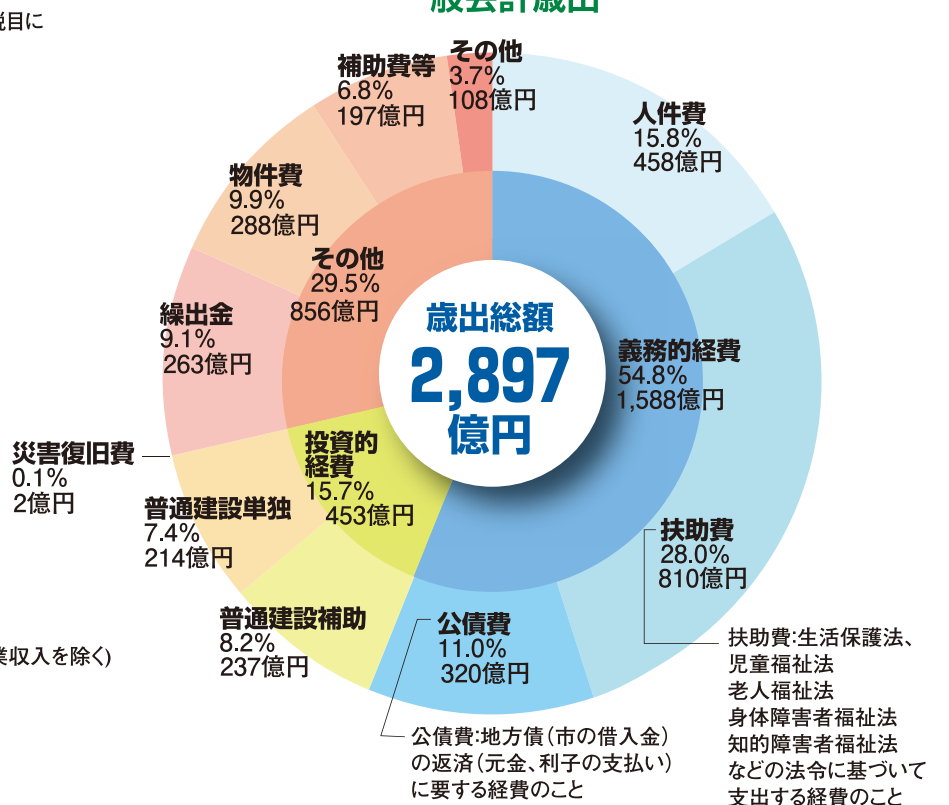
〈企業会計〉

会計名	収入総額	支出総額	収入支出差引額
病院事業会計	139億1,202万円	139億2,137万円	△935万円
水道事業会計	127億9,433万円	109億2,481万円	18億6,952万円
下水道事業会計	159億9,202万円	149億8,572万円	10億630万円
工業用水道事業会計	690万円	686万円	4万円
交通事業会計	33億9,966万円	26億3,953万円	7億6,013万円
企業会計合計	461億493万円	424億7,829万円	36億2,664万円

一般会計歳入



一般会計歳出



〈重点的取り組み〉

項目	費用
● 挑戦元年アクションプランの推進	176億1,800万円
・ 区ごとのまちづくり推進、公共交通の整備、中心市街地の整備等、くまもとの再デザインに向けた取り組み	74億700万円
・ 医療都市グランドデザイン、障がい者支援、待機児童解消等の推進	93億6,400万円
・ 上海事務所を活用した東アジア戦略、企業立地の推進	8億4,700万円
● 防災・減災対策の推進	20億1,100万円
● 雇用創出、地場企業への支援等、地域経済活性化の推進	58億2,800万円
● 新市基本計画の推進	96億2,000万円

議会からの指摘

平成25年度の決算について、議会から、次のとおり指摘がありました。

● 多種多額に及ぶ収入未済や不納欠損及び租税公課に対する多重債務者に効果的に対応するため、債権管理部門組織の一元化や債権管理条例の制定への取り組みを進めてもらいたい。

● 地方交付税の不足分を補てんする臨時財政対策債は、国の地方交付税による後年度負担が担保されているとはいえ、借金である実情に変わりはなく、発行規模が拡大していくことは健全財政とは言いがたい。

● 本市職員への障がい者の雇用については、教育委員会において未達成となっている法定雇用率の早期改善を図るとともに、採用試験における制限的な受験資格や条件の設定を撤廃し、分け隔てのない就労機会が確保されるよう、全庁的な積極的取り組みを求めたい。

この他、平成25年度は、指定都市移行後初の本格的予算編成となったことから、移行前後での決算状況の比較や、各種重点事業の実施状況と効果について確認が行われました。

※詳しくは予算決算委員会の審査概要をご覧ください。